

## LME アルミニウム在庫減少

400万トン割れ目前

### LME 在庫の推移

ロンドン金属取引所 (LME) の指定倉庫におけるアルミニウム地金在庫の減少傾向が続いている。2月9日では、4,007,000トンと、5年9ヶ月ぶりに1つの節目とされる400万トン割れに近付いた。

アルミニウム地金在庫は、2014年1月のピーク時に5,490,000トンと世界の年間需要の10パーセント強という異常な過大在庫に膨らんだ。

この異常在庫は倉庫会社の管理能力をオーバーして搬出能力がマヒに陥る事態となった。

### LME の正常化努力

荷主が指定倉庫から地金を運び出そうとしても順番待ちの行列ができ、出庫まで2年近くも要するという事態になった。LMEも事態を重視し、搬出まで50日以上かかる倉庫には、搬入よりも出庫を多くしないと罰則を科す規制を導入しようとしたため、倉庫会社は出庫促進に注力した。

在庫の減少の原因として、アルミニウム地金製錬業者の不採算による減産が進んだことによるという見方もされている。

### 過大在庫の行方

異常在庫の積み上りの原因は、投資銀行やヘッジファンドがアルミニウム地金の現物を使った金融取引を繰り返し、現物を倉庫へ入れ、倉荷証券で金融を受ける、異常低金利の結果である。

この異常低金利が続く限り、指定倉庫在庫がなくなるとは考えにくい。また在庫の減少は国際相場の強材料になるという説もあるが、LMEの市場には反応していない。

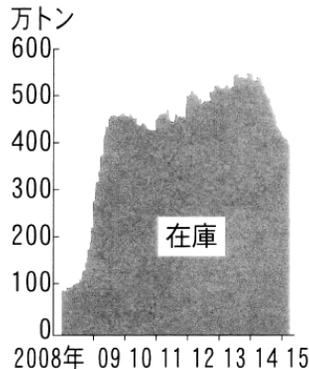
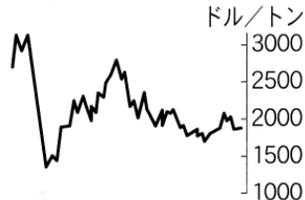
倉庫在庫が市中へ出回り、ジャパン・プレミアムが消失することの方が望ましい。また、最も不幸な事態は金利の急上昇で、一挙に膨大な地金が市中へ流出して大混乱に陥る恐れである。

減少が続く

指定倉庫在庫

(月末在庫)

### LME相場



## 2015年アルミニウム缶需要 217億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会（理事長・白井啓一氏・ユニバーサル製缶株式会社取締役・相談役）は2月13日2014歴年の飲料用アルミニウム缶需要見込みと、2015歴年の需要予測を発表した。

これによれば、2014歴年の需要量は「ビール系飲料」の落ち込みが継続する一方で、昨秋に本格化したコーヒー缶のアルミニウム化を受けて4%増加の201億6千万缶となり、国内需要が初めて200億缶を突破する記念すべき年となった。

2015歴年については、過去最高の2014歴年をさらに上回る、217億缶と予測した。前年に引き続き「ビール系飲料」は減少して史上初の100億缶割れも視野に入る水準だが、2015歴年もコーヒー缶のアルミニウム化現象は継続すると見られ、「非アルコール」は25億缶へと2割以上の増加が見込まれる。

また、ボトル缶も2年連続の増加となる24億缶ま

で拡大すると見通した。

好調な非アルコール系飲料に対し、落ち込みの続くビールについては、少子高齢化や若者のビール離れなどの好みの変化により、中長期的に需要の減少は避けられないと見ている。

アルミ缶リサイクル協会では、ミルク入りコーヒーのアルミニウム化について、2014歴年と2015歴年の急激な展開は、2015歴年がピークとなり、2016歴年以降の環境については見通し難であるとの見方を示すにとどまった。

過去8年間のアルミニウム缶の需要は下記の通りで堅調に推移している。（単位・億缶）

・2006年	183.6	・2007年	188.2
・2008年	184.3	・2009年	182.4
・2010年	185.6	・2011年	188.0
・2012年	191.3	・2013年	194.5

### 日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦年		2013年実績	2014年実績見込み	2015年予測	
A 向先別 国産缶 出荷量	ビール（発泡酒・新分野含む）	102.0（99.0）	101.3（99.0）	100.0（99.0）	
	ビール 以外の 飲料	その他のアルコール	22.6（104.0）	23.8（105.0）	25.0（105.0）
		非アルコール	61.5（104.0）	68.6（112.0）	85.0（124.0）
	ビール以外の飲料計		84.1（104.0）	92.4（110.0）	110.0（119.0）
	小計		186.1（101.0）	193.7（104.0）	210.0（108.0）
	（うちボトル缶数量）		20.4（99.0）	22.6（111.0）	24.0（106.0）
B	空缶輸入量	0.5（100.0）	0.5（100.0）	0.4（90.0）	
C	実缶輸入量	8.5（113.0）	8.0（95.0）	7.4（93.0）	
D	実缶輸出量	0.6（100.0）	0.6（100.0）	0.8（120.0）	
E	国内需要量計（A+B+C-D）	194.5（102.0）	201.6（104.0）	217.0（107.0）	

## Al-Mg系ダイカスト技術研究

### 日本アルミニウム合金協会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会のダイカスト用アルミニウム合金委員会（北岡山治委員長）は、2015年度に、近年ヨーロッパ・ダイカスト市場において積極的に活用されてきたAl-Mg系合金ダイカスト（ADC5）について、その使いこなし技術・製造技術を研究して、優れた材料特性を日本に於いても積極的に活用しようと、一般社団法人日本ダイカスト協会と共同研究を進める計画を発表した。

日本に於けるAl-Mg系合金ダイカストの活用は今日まで極めて限られた範囲にとどまり、市場は著しく限定されている。しかしヨーロッパにおいて、優れた特

性を有し、自動車関連部品をはじめ様々な市場展開が期待できることから、日本においても積極的に使いこなす環境を整えておくことが不可欠との考えからこのほど研究のテーマに採用された。

日本のダイカスト用合金としてはAl-Si-Cu系合金（ADC12）が伝統的に大部分を占めており、Al-Si系合金（ADC1およびADC3）などと共にAl-Mg系合金（ADC5）の使用例は極めて限られてきた。

この度の研究の成果により、使いこなし技術が大きく進んでいけば、将来は多くの新しいダイカスト市場が展開するものと期待される。

#### 日本工業規格 Al-Mg系ダイカスト

	Cu	Si	Mg	Zn	Fe	Mn	Ni	Sn	Pb	Ti
A D 5 (地 金)	0.2 以下	0.3 以下	4.1 ∩ 8.5	0.1 以下	1.1 以下	0.3 以下	0.1 以下	0.1 以下	0.1 以下	0.2 以下
A D C 5 (ダイカスト)	0.2 以下	0.3 以下	4.0 ∩ 8.5	0.1 以下	1.8 以下	0.3 以下	0.1 以下	0.1 以下		

## 西尾桜まつり

### 3月21日オープン

例年4月の行事とされてきた西尾桜まつりは、年と共に桜の開花が早くなり、本年は3月の行事として行われる。

西尾城歴史公園とみどり川桜並木通りを中心に3月21日から4月5日まで多彩な行事が下記の様に催される。（写真は西尾城歴史公園）

- ・歴史公園－サクラ花市、コスプレ桜まつり
- ・みどり川－うなぎと金魚のつかみ取り
- ・本町通り－ピンゴ、お酒の試飲会



## 三河湾の しおひがり

西尾市の三河湾沿岸には8ヶ所の潮干狩り（しおひがり）のスポットがあり、3月20日にオープンする。当地の「あさり」貝は極めて質が高く、全国的に有名である。

写真は吉良海岸のしおひがり。お問い合わせは西尾市観光協会（電話0563-65-2169番）へ。ただし、干潮時刻と天候により、交通渋滞の起きる可能性があり、ご注意のほど。



## 社内情報

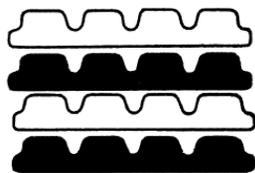
- ◎長野県下諏訪町衛生自治会連合会の皆さん約30名の見学の申し込みをいただきました。日程の調整打ち合わせが進んでいます。
- ◎県外からの見学団の来訪は珍しく、見学後のご意見を期待しています。
- ◎隣接の矢作川を渡ってくる寒風が、春の心地良い風になり、良い季節を迎えます。

## 編集後記

- ▣2015歴年のアルミニウム缶需要予測は大きな伸びでご同慶の至りです。
- ▣ミルク入りコーヒー缶の爆発的な伸びにつづき、日本酒メーカーにもアルミニウム缶導入の研究が進んでおり、成り行きが注目されます。
- ▣ウクライナ、ギリシャ両国問題が欧州経済を圧迫して、国際金属市場への悪影響が懸念されています。

## アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

## アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>